

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	比々多魅力再発見事業			事業番号	24-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	石田 康弘	商工観光課	志村 政昭	

計 画 (P l a n)					
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	11	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる	
		施策	24	魅力ある観光の振興	
予算事業名	比々多魅力再発見事業費				
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前 ～		終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等	神奈川県観光振興計画			計画期間	令和元年度～令和4年度
関連個別計画	大山魅力再発見「平成大山講」プロジェクト ～体感！悠久の歴史・安らぎの霊峰大山～			計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	令和元年度の伊勢原・大山インターチェンジの開通及び令和3年度の県道611号(大山バイパス)の開通により交通アクセスの向上が図られる中で、広域からの集客など、観光を振興していく上で様々な波及効果が期待されるとともに、首都圏近郊の魅力ある観光地づくりが求められています。				
目 的 (何をどうしたいのか)	日本遺産の構成文化財である三之宮比々多神社をはじめとした歴史・文化と豊かな自然や農産物の魅力を生かした個性的なまちづくりを進め、地域団体や関係機関等との連携による地域の活性化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	国内外から比々多地区を訪れる観光客等				
事業内容 (手段、手法など)	・更なる誘客の強化に向け、観光振興団体等と連携し、既存イベントの拡充を図る新規事業を実施します。 ・安全・安心な受入体制を整備するため、聖峰及び高取山をはじめとする登山道の修繕を計画的に実施するとともに、リピーターの確保に努めます。 ・新たな観光客の獲得及び隣接地域への周遊促進を図るため、観光協会と連携し、魅力的な比々多地区観光PRパンフレットを作成します。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	比々多地区で実施する企画イベント数	1イベント実施	2イベント実施		
	観光インフラ整備(案内標識の設置、ハイキングコースの整備等)	案内標識等の設置 ハイキングコースの整備	案内標識等の設置 ハイキングコースの整備		
	地元との観光振興に係る協議	協議内容に基づく観光振興策の実施	協議内容に基づく観光振興策の実施		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	比々多地区での企画イベントの実施による賑わいの創出	0回／年 (令和2年度)	1回／年	2回／年	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	日本遺産の構成文化財エリアとしての強みを生かした比々多地区の歴史・文化的観光資源の魅力発信を、地元や関係団体、また、教育委員会と連携しながら推進し、更なる観光振興に努めます。また、道標や案内看板、登山道における必要な修繕等を実施し、受入態勢の着実な整備を図ります。なお、各種事業の執行にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みながら慎重な判断及び対応を図ります。			
実施方法 〔選択・記入〕	☐ すべて直接実施 ☒ 左記以外			
	☒ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	(一社)伊勢原市観光協会
	☐ 補助金		補助先	
	☐ その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	比々多地区で実施する企画イベント数	1イベント実施		
	観光インフラ整備(案内標識の設置、ハイキングコースの整備等)	ハイキングコースの整備		
	地元との観光振興に係る協議	未実施		
実施した取組の内容	イベントについては、交通事業者等との連携による「伊勢原比々多の魅力さんぽ」を実施しました。ハイキングコース整備については、聖峰・高取山登山道階段修繕を実施しました。地元との観光振興に係る協議内容に基づく観光振興策の実施についてはコロナの影響により見送りました。			
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	比々多地区での企画イベントの実施による賑わいの創出	0回/年 (令和2年度)	1回/年	

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績			
	事業費合計 (a)		500	千円			千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円			千円		
		地方債 ②	0	千円			千円		
		その他特財 ③	0	千円			千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	500	千円	0		千円		
	国県支出金の内容								
	その他特財の内容	受益者負担	☐ 有 ☒ 無		前回の改定時期				
		その他							
	人件費	正規職員	0.19	人	1,554	千円		人	千円
		その他の職員		人	0	千円		人	千円
		人件費合計 (b)	0.19	人	1,554	千円		人	千円
	トータルコスト (a)+(b)		2,054	千円	0		千円		
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位			単位
対象数			101,381		人				
総事業費/対象数		20		円			円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☐ 計画どおり (A) ☒ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	観光企画イベントはコロナ禍でありながら交通事業者との連携による新規事業を実施しました。また地元との観光振興に係る協議内容に基づく観光振興策の実施についてはコロナの影響により見送ることとなりました。観光インフラ整備については1箇所ハイキングコース修繕を実施しました。
実施水準 〔選択・記入〕	☐ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☒ 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	一律に比較できない事業であると考えます。
有効性 〔選択・記入〕	☐ 高い (A) ☒ 普通 (B) ☐ 低い (C)	B	左記判断理由	当初予定していた観光企画イベントについては新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、交通事業者、観光協会、地元との連携による新規イベントの開催により地域観光資源の魅力発信に繋げることができました。
効率性 〔選択・記入〕	☐ 効率的に実施されている (A) ☒ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	地元との観光振興に係る協議内容に基づく観光振興策の実施については、地元や関係団体と協議を図った中でコロナ禍でも実施できる方法を模索していく必要があると考えます。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しの上継続	事業推進上の課題	隣接する大山・日向地区などの観光資源を相互に活用し多様な魅力を提供できる広域的な周遊ルートを確立することが必要です。また、寺社仏閣や登山道といった歴史文化、自然に関連する観光資源のみならず飲食店や土産店等と連携した滞在時間の延長及び観光消費額の増加に繋がるエリア全体としての受入体制の整備が必要であると考えます。
令和4年度取組方針		日本遺産の構成文化財エリアとしての強みを生かした比々多地区の歴史・文化的観光資源の魅力発信を、地元や関係団体、また、教育委員会と連携しながら推進し、更なる観光振興に努めます。また、道標や案内看板、登山道における必要な修繕等を実施し、受入体制の着実な整備を図ります。なお、各種事業の執行にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みながら慎重な判断及び対応を図ります。		
所管部長による総評		地元と連携した誘客イベントの実施やハイキングコース修繕などの比々多地区の魅力再発見に繋がる事業については継続して進めることとし、観光プロモーション映像などの比々多地区の観光資源を魅力的に発信する効果的なPR事業についても推進していく必要があります。またコロナ禍における新しい生活様式に対応した観光施策についても模索し、観光需要の早期回復及び地域の活性化を図る必要があります。		